

日時：令和5年7月7日（金）
13時～14時30分
場所：庁議室

令和5年度

第1回 鹿島市DX推進本部会議



■ 本日のアジェンダ

■ 1 市長 から

■ 2 令和5年度DX推進の取組について

■ 3 かしまデジタル変革（DX）戦略の策定について

ミッション・ビジョン・バリュー（何のためにDXをするのか）

基本理念 (ミッション)

『市民目線』の行政サービスや業務のデジタル活用による、みんなが住みやすく暮らしやすいまち

市民の目線に立ち、一人ひとりに寄り添い、行政サービスや業務においてデジタル技術を効果的に活用することで、総合計画で掲げる「みんなが住みやすく暮らしやすいまち」を実現することがDX戦略の使命であり、本市がDXを推進する理由です。

将来めざす姿 (ビジョン)

市民の利便性向上

- ①市民は、最適な（いつでも・どこでも・どんな方法でも）手続きの仕方を選ぶことができます
- ②市民は、手続きの手間を最小限に抑えることができます（書かない・待たない・回らない）
- ③市民は、市役所から必要な情報を適時に受け取ることができます
- ④市民は、施設やサービスをより利用しやすくなります

業務の効率化

- ①職員は、業務の自動化等により、政策立案や市民サービスの提供など、人しかできない業務に専念できます
- ②職員は、互いにサポートしあって、ムダなくスムーズに仕事ができます
- ③職員は、紙の書類を探さなくとも、すぐに必要な情報を取り出すことができます
- ④職員は、最適な場所・環境で仕事ができます

人財育成

- ①職員は、デジタル分野について基本的なことを共有できています
- ②職員は、根拠をきちんと理解した上で、基本的なシステム操作ができます
- ③職員は、現状をきちんと分析し、最適なシステムを導入・利用できます
- ④職員は、主体的に新しい知識・技術の習得に努め、デジタル技術を積極的に取り入れることができます

本戦略を推進するうえでの、将来の鹿島市のあり方であり、市民や職員が日常的に感じる「課題・疑問」が解決された後の鹿島市の目指すべき姿です。

職員の行動指針 (バリュー)

- ① DXは**利用者目線**で進めます
- ② DXは**デジタルを手段に業務改革前提**で進めます
- ③ DXは**庁内組織の縦割りを排し垣根を取って**進めます
- ④ DXは**全体最適化を念頭にトータルコストを意識**して進めます
- ⑤ DXは**チャレンジ精神を持って行動・挑戦**して進めます

本戦略を推進するうえでの、本市職員として行動する際の5つの心構えです。これをDX推進の原点とし、常に心に留めておき、また折りに触れて原点に帰ることでDXの意義を組織に根付かせます。

戦略・戦術 (アクションプラン)

各課の具体的な取組

(かしまデジタル変革戦略アクションプラン)

ミッション・ビジョンを実現するために実行する個別の具体的な取組であり、ダメなら方向転換ができるように適宜検証・見直しを行います。

DX推進体制の強化・地域との連携（官民連携）

◎ DX推進アドバイザー（水戸 理臣 氏）、 DMM.com DXチームとの連携



- 令和5年5月8日
連携協定締結
- 来年度のデジ田交付金
を活用した新規事業の
検討スタート
- 庁内の業務改善
アドバイス窓口スタート

業務内容

- (1) DX計画に基づく具体的な施策の立案
- (2) 庁内業務の効率化
- (3) 行政手続のオンライン化
- (4) シティプロモーションの強化
- (5) 地域情報化

◎ 鹿島DX研究会との「誰一人取り残さない、 人に優しいデジタルのまちづくり」に向けて連携



連携内容

- (1) DX、デジタル技術に関する調査、研究、情報収集、啓発活動
- (2) 地域の課題研究とDX活用による政策提言、課題解決
- (3) 利便性の高い行政サービスシステム構築と市民の利活用の推進
- (4) DX人材育成、起業、新しいビジネスモデル構築による地域活性化
- (5) 国、県などの関係機関、各種団体との連携、協働による事業の推進

子育て・介護関係等の手続きの電子申請（オンライン申請）の整備

◎ 子育て・介護関係等の27手続きが マイナポータル上からオンラインで申請可能に

■ 電子申請ができる手続一覧（6/1現在）

【児童手当等】

- ・児童手当等の現況届
- ・児童手当等の受給資格及び児童手当の額についての認定請求 など

【介護保険】

- ・要介護・要支援認定の申請
- ・要介護・要支援更新認定の申請 など

【保育】

- ・保育施設等の利用申込
- ・保育施設等の現況届 など

【防災・被災者支援】

- ・罹災証明書の発行申請

【母子保健】

- ・妊娠の届出

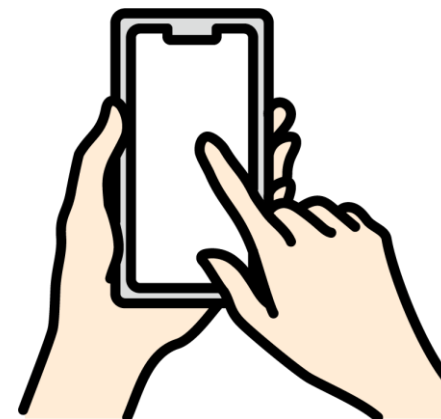
市役所へ来なくても手続きができる！



やらなきゃいけない手続きはあるけど、市役所へ行く時間がないんだよな…



いつでもどこでも手続き出来るし、分かりやすくなって楽になった！！



しかし、マイナポータル上からは「使いにくい」や「フォームを作るのが難しい」という課題も。。。

▶ 「使いやすい」「誰でも」「簡単に」「すぐに」に申請フォームを作成・集計し、管理できる

「ノーコード電子申請システム（LoGoフォーム）」の無料トライアルを利用して、全庁的な実証に取り組む。（8月～）

LoGoチャット（ビジネスチャットツール）本格導入

◎ 効率的なコミュニケーション基盤として 全庁的に電話やメールからチャットへ！

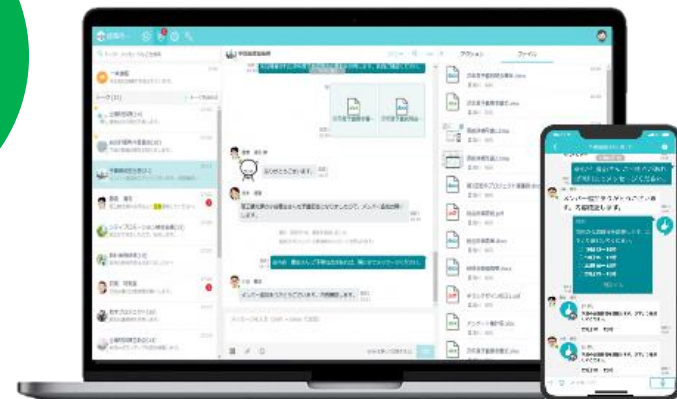
【職員の実際の声】

- 部署間の連携がしやすく、仕事が進めやすくなった！
また、職員同士の助け合いが増えた。連絡調整しやすくなった。
- 出張・自席不在時の連絡が取りやすくなった。
外出時や現場対応時での写真や情報共有がしやすくなった！
- メール等の既存のツールと比較してリアルタイムに情報連携ができるようになった。伝言メモのフセンがなくなった。
- 災害対応時の連携・調整がスムーズになった。

本格導入開始2カ月で

職員1人あたり

年間約 147 時間 の業務削減効果



電話をかけまくり、
必死に日程調整や連絡伝言。。。。



相手が出張・自席不在時でも
「ラクラク・スムーズ」に連絡・調整！

生成AI（ChatGPT）の利活用の取組

◎ LoGoチャット上で利用できる

「AI アシスタント bot（Chat GPT）」の実証に取り組みます！

(1) 期間（無料トライアル期間）

7月21日～9月30日

(2) 特徴

- ① LGWAN・インターネットからChatGPT が使える！
- ② 会話データはOpenAI 社の学習に利用されない！
- ③ 個人情報の入力を制御できる！
- ④ GPT 4 に対応！（通常個人で利用する場合は、約2,500円/人）

(3) 業務での活用例

挨拶文の作成

目的や相手を入力するだけで、適切な文章を生成してくれます。

市民からの問い合わせへの回答

問い合わせ内容を入力するだけで、適切な回答を生成してくれます。

会議の議事録の作成

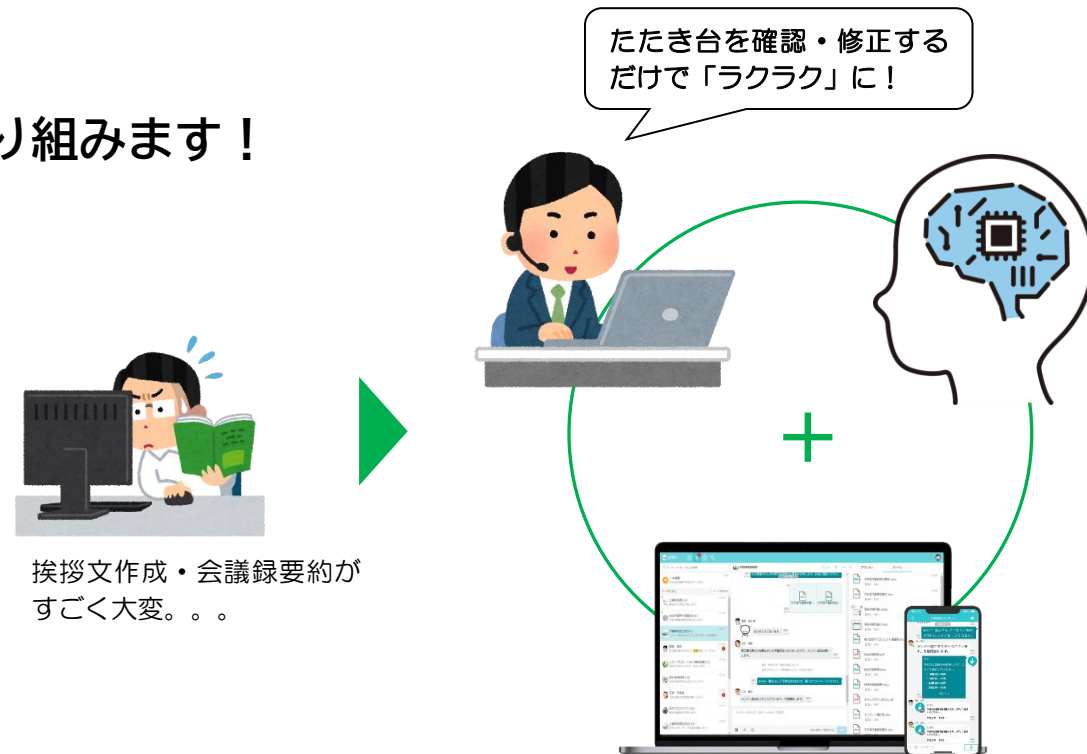
内容や参加者を入力するだけで、要約を生成してくれます。

誤字脱字や文法のチェック

文章を入力するだけで、誤字脱字や文法の誤りを指摘してくれます。

政策立案や提案書の作成

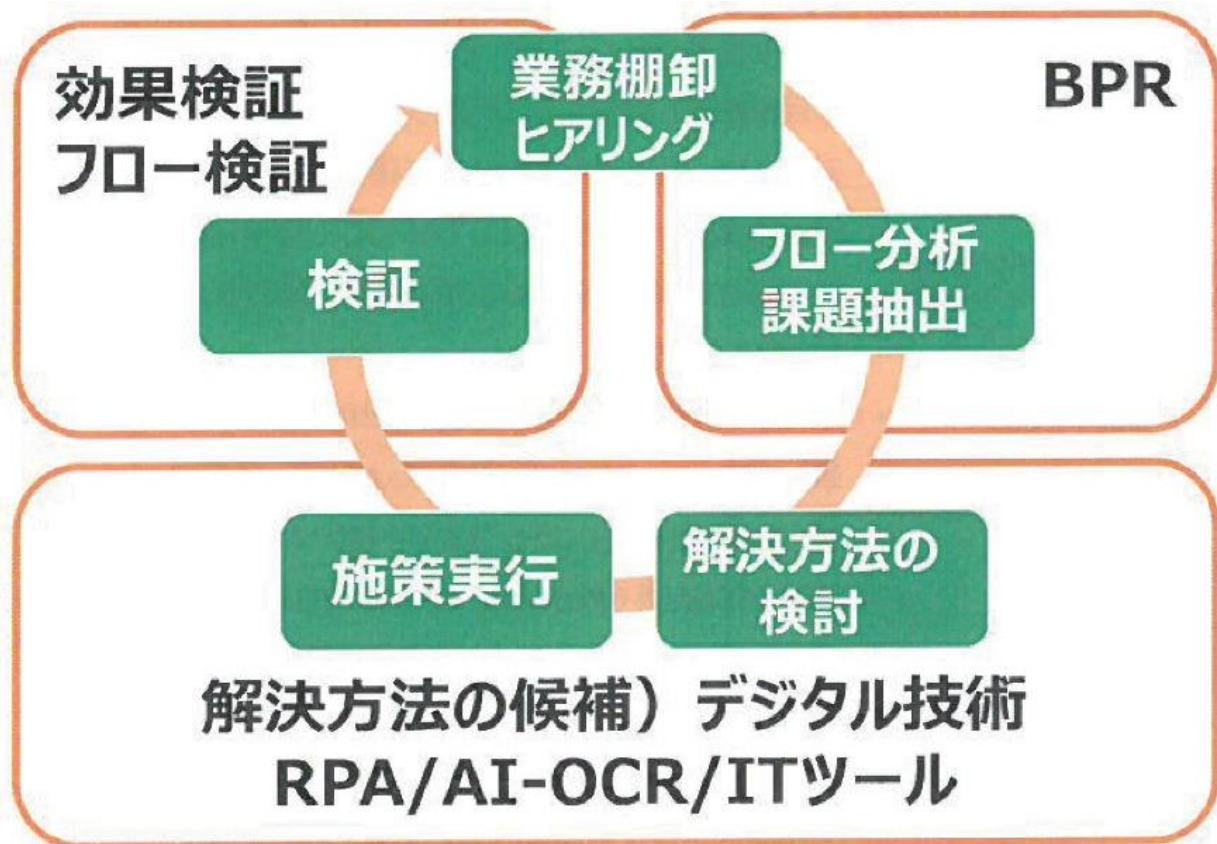
テーマや目的を入力するだけで、要約を生成してくれます。



◎ 全庁横断的なチームを組成し、

BPR（業務棚卸⇒フロー分析・見直し⇒デジタル活用（RPA・AI・その他ツール））に取り組めます！

【プロジェクトの流れ】



見込まれる成果

職員の事務の効率化



「より付加価値の高い業務へ専念できる」環境へ
新たな施策の展開の推進



市民サービスの向上



各分野のデジタルを活用した地域課題の解決に向けて

◎ 行政DXだけでなく、産業、環境、交通、観光など、

各分野で、デジタルを活用した地域課題の解決に向けて、取り組んでいきます！

環境 × デジタル



公共交通 × デジタル



(引用：デジタル田園都市国家構想総合戦略資料／20221223)

自動運転バスやMaaSの実証検討

農業 × デジタル



観光 × デジタル



WEB3.0



メタバース(仮想現実)などを活用した関係人口拡大に向けた取組

- (1) パブリックコメント・庁内各課の意見募集の結果について
- (2) アクションプラン（具体的な取組）について

別紙のとおり